



SPECIAL STEEL

June/2002

すてい〜る

目次

● 特集 (社)全日本特殊鋼流通協会 『第6回定時総会』開催

● 「第6回定時総会」開催	1
● 「支部総会」開催	5
● 「青年部会」第2回運営委員会を開催	7
● 「調査研究委員会」主催講演会	8
<「我が国の金型産業の将来展望と課題」～中国の製造業の評価も踏まえつつ～>	
● 第4回 特殊鋼販売加工技士(実務編)資格認定式 開催	9
● 「韓国特殊鋼流通事情視察研修」を実施	11
● 私の愉しみ 山田保太郎 (株)ヤマコー代表取締役	12
● 突然おじゃま 相場亮嗣 相場商事(株)取締役社長	13
● 理事会・委員会報告	14
● 事務局だより・編集後記	裏表紙



社団法人全日本特殊鋼流通協会

〒103-0025 東京都中央区日本橋茅場町3丁目2番10号 (鉄鋼会館)
 TEL.03-3669-2633・2777 FAX.03-3669-0395
 ホームページ <http://www.zentokkyo.or.jp>
 E-mail zentoku3@ba2.so-net.ne.jp

「第6回定時総会」開催



(社)全日本特殊鋼流通協会は平成14年6月2日(日)午後2時から、愛知県知多郡南知多町の南知多温泉郷「花乃丸」にて第6回定時総会を開催しました。定時総会における議案は次のとおりで、いずれも満場一致で承認されました。

- 第1号議案／平成13年度事業報告書(案)承認の件
- 第2号議案／平成13年度収支決算書(案)承認の件
- 第3号議案／平成14年度事業計画書(案)承認の件
- 第4号議案／平成14年度収支予算書(案)承認の件
- 第5号議案／役員選任の件

第5号議案については、3頁の表のとおり理事20名、監事2名が選任され、定時総会終了後の臨時理事会で3役が選出されました。



全特協第3代会長に三上聰彦氏を選出

総会終了後の臨時理事会で、三上聰彦副会長(ノボル鋼鉄(株)代表取締役社長)が新会長に選出されました。副会長には、久木田一成氏(櫻井鋼鉄(株)代表取締役社長)が留任のほか、新副会長として熊谷多津旺氏(クマガイ特殊鋼(株)代表取締役社長)が選出されました。

全特協の第2代会長として2期4年、青年部会の設立や事務局体制の効率化などに尽力された田島清前会長は協会理事から退任され、今後は、顧問としてご指導いただく事になります。



三上聰彦・新会長



久木田一成・副会長



熊谷多津旺・新副会長

三上新会長あいさつ

会長に選任いただきました三上でございます。ワールドカップの開幕ではございませんが、私にとってのキックオフのごあいさつを申し上げます。

まず、この度勇退されました田島会長には、これまで協会運営に大変なご尽力を賜りましてありがとうございます。深く感謝申し上げます。今後も引続き大所高所よりご指導のほどよろしく願い申し上げます。

ただいま、この席でご挨拶するにあたり、会長としての使命の重さに改めて身が引き締まる思いがいたします。幸い、久木田副会長が留任され、名古屋の熊谷さんに副会長に就いていただき、大変心強い限りでございます。また、14年前のこととなりますが、本日ご臨席の井上顧問が、当協会の前身「全特連」の理事長就任の折に提唱されて発足した若手の会「全特連ヤングプラザ」。その活動を通じて知り合った方々が理事に就任されておられますので、皆さんにお力をお貸しいただき、今後の運営に自信を持って取り組んで参りたいと存じます。

全特協も社団法人となりましてから5年半が経過いたしました。その間、世界情勢がめまぐるしく変化し、国内の政治、経済も変動し続けております。特殊鋼を取り巻く環境も産業の空洞化、地域格差、メーカー、流通の再編等、大きな変

化の波が押し寄せてきております。そのような中、当協会といたしましては企業の永遠のテーマである人材育成事業としての特殊鋼販売技士、ならびに特殊鋼販売加工技士研修の推進をしております。グローバル化の中で内外交流事業は、これまで海外特殊鋼業との交流が主体でありましたが、これに加え、国内の特殊鋼との関連が深い、例えば、金型、熱処理、あるいはステンレス、普通鋼の業界団体との交流を持ち、共生の道を模索していきたいと思っております。あわせて、調査研究、広報活動につきましても、協会内に向けただけでなく協会外に対しても我々の活動を発信する必要があると考えております。

昨年11月、木村部会長のもとに青年部会が設立されました。これは田島前会長が各支部の皆さんとの懇談の中で業界の将来を見据えた事業を、ということで提唱されました。次代を担う若手経営者が地域を越え、連帯を深め、互いに研鑽し、夢を語る会になっていただきたいと願うと共に、協会運営にも新風を吹き込んで下さるものと期待しております。冒頭申し上げましたが、私もヤングプラザで多くの方と知り合い、多くの方々から刺激を受け成長させていただきました。また、各支部長の皆さまには厳しい経済環境下で支部運営に苦慮されていると存じます



三上聡彦 略歴

昭和21年10月17日千葉県生まれ。昭和45年慶応大学法学部卒業後、東北特殊鋼(株)入社。昭和47年ノボル鋼鉄(株)入社。同48年専務取締役、同63年代表取締役社長就任、現在にいたる。全特協では平成10年5月より副会長職にあった。

が、引き続き積極的な支部活動を推進くださいますようお願い申し上げます。

どうか、会員の皆さま方も協会事業への積極的なご参加とご協力を切にお願い申し上げます。皆さまの今後益々のご健康、ご活躍を祈念し、措辞ではございませんが会長の挨拶といたします。

田島前会長・退任のあいさつ



この総会をもちまして、会長を退任させていただくことになりました。私が、今日まで無事大役を果たせたのも、ひとえに、皆さま方からの多大なご協力と、公私にわたる温かい心遣いと励ましのおかげでございます。深く感謝の意を表し、心より厚く御礼申し上げます。

在任中の思い出と申せば、あまりにも多すぎて一言では尽くせないものですが、やはり何と申しましても、就任早々に各地方支部を訪問させていただいたときの、皆さまの温かなおもてなしと、励ましのお言葉にあったと思います。井上さんという、立派な信念を持たれた会長の後任として「何を、どう？」運営の基本にすべきか逡巡していた頃でもありまして、皆さまのご意見にどれほど勇気づけられたことか、今

考えても、本当にありがたい次第でございます。

また、在任中のほとんどが景気の低迷期であり、会員の皆さま方は、それぞれの会社のご経営に苦慮されている最中であり、協会活動などは後回しになって然るべきところを、誠によくご協力いただきまして頭の下がる思いでございました。おかげさまで協会活動も、現在ではまずまずの状況となっており、私も安心して後進に道を託していける次第です。とは申せ、まだまだ協会としては安定期に入ったとも申し上げられませんので、今後とも、なお一層のご支援、ご協力のほどをよろしくお願い申し上げます。

今後益々、皆さま方の会社のご発展と、ご健康を祈念して、退任の弁とさせていただきます。どうもありがとうございました。

第6回定時総会 役員選任

役職	氏名	勤務先・役職名	
会長	三上 聰彦	ノボル鋼鉄(株)	代表取締役社長
副会長	久木田一成	櫻井鋼鉄(株)	〃
副会長	熊谷多津旺	クマガイ特殊鋼(株)	〃
専務理事	福森 康一	(社)全日本特殊鋼流通協会	事務局長
理事	川本 芳裕	川本鋼材(株)	代表取締役社長
〃	小山 東輔	小山鋼材(株)	代表取締役社長
〃	佐久間貞介	佐久間特殊鋼(株)	〃
〃	竹内 誠二	(株)竹内ハガネ商行	〃
〃	樋口 克彦	(株)天彦産業	〃
〃	福岡 富司	(株)福岡ハガネ商店	〃
〃	藤原 久芳	ヤマト特殊鋼(株)	代表取締役社長
〃	飯田 數美	飯田法律事務所	弁護士
〃	梅井 昭三	山陽特殊製鋼(株)	常務取締役
〃	近藤 俊雄	愛知製鋼(株)	〃
〃	鈴木 清詞	鈴秀工業(株)	代表取締役社長
〃	西村 富隆	...	特殊鋼販売技士検定試験委員会委員長
〃	根来 龍之	早稲田大学	商学部教授
〃	根崎 健一	大同特殊鋼(株)	常務取締役
〃	村上 嘉昭	東部金属熱処理工業組合	専務理事
〃	湯野沢栄勝	...	特殊鋼販売加工技士検定試験委員会委員長
監事	宇梶 勝康	公認会計士宇梶勝康事務所	公認会計士
〃	霜出 洋美	霜出洋美税理士事務所	税理士

(注) ●新任理事

川本 芳裕 川本鋼材(株) 代表取締役社長
 佐久間貞介 佐久間特殊鋼(株) 〃
 湯野沢栄勝 ... 特殊鋼販売加工技士検定試験委員会委員長

●退任理事

伊藤 秀樹 孟鋼鉄(株) 代表取締役社長
 田島 清 (株)テクノタジマ 代表取締役会長
 橋本 勝己 橋本労務コンサルタント事務所 社会労務士

■定時総会終了後の感謝状贈呈式

定時総会・臨時理事会終了後、田島清前会長と染谷公明氏に感謝状と記念品が三上新会長から贈呈されました。



【講演会】

「私が思う中国の現状及び経営者の為の健康法…整膚」

東洋医学博士 徐 堅 氏

総会終了後は、東洋医学博士・徐堅氏による講演会「私が思う中国の現状及び経営者の為の健康法…整膚」が行われました。徐堅博士は、武術と医学を専攻し「病は皮膚に現れる」という古代中国の早期予防の考え方やスポーツ選手の臨床体験から、皮膚を引っ張ることによって健康と癒しに効果的なメカニズムを発見。

当日は、中国の現状や中国人の物の考え方、商習慣などを講演。あわせて、整膚の理論と実技を披露され、笑いの絶えない、なごやかでリラックスモードの講演会となりました。



徐堅博士による実技指導に会場も応じる



整膚の実演で会場もリラックス



【工場見学会】

大同特殊鋼（株）知多工場

平成14年6月3日（月）

■工場見学会に50名参加

平成14年6月3日（月）、愛知県東海市にある大同特殊鋼（株）の知多工場に工場見学会（参加者50名）を行いました。ご存知のように知多工場は、最大手の特殊鋼メーカーである大同特殊鋼（株）の主力工場であり世界最大級の特殊鋼一貫工場として業界をリード。圧倒的な設備と群を抜いた生産量を誇っています。

知多工場の見学会は2班に別れて実施され、製鋼工場、分塊圧延工場、連鋳工場の各生産設備を十分に見聞しました。



見学会に先立ち、説明会が実施される



見学会終了後、大同特殊鋼（株）様に謝辞を表す三上会長



白衣、ヘルメットに身を包み、工場見学会に赴く

「支部総会」開催

東京支部

6月7日（金）於：アークヒルズクラブ

委任状を含めて90社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に、竹内誠二氏 [(株) 竹内ハガネ商行社長]、副支部長に藤原久芳氏 [ヤマト特殊鋼 (株) 社長]、藤田忠義氏 [藤田商事 (株) 社長]、井川富雄氏 [(株) 井川鋼店社長]、渡辺政和氏 [(株) キューアンドエー社長] を選出した。



総会風景
〔特殊鋼通信社提供〕

大阪支部



懇親会にてあいさつする
樋口新支部長

6月13日（木）於：新阪急ホテル

委任状を含めて104社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に樋口克彦氏 [(株) 天彦産業社長]、副支部長に小林廣重氏 [小林鋼材 (株) 社長]、小山東輔氏 [小山鋼材 (株) 社長]、林田耕平氏 [林田特殊鋼材 (株) 社長] を選出した。



総会風景

名古屋支部



抱負を述べる川本新支部長

6月17日（月）於：ホテルキャッスルプラザ

委任状を含めて51社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に川本芳裕氏 [川本鋼材 (株)]、副支部長に鷺野光司氏 [名古屋特殊鋼 (株) 社長]、樋口芳氏 [辰巳屋興業 (株) 専務]、藤巻武利氏 [(株) 藤巻本店社長]、伊藤秀樹氏 [孟鋼鉄 (株) 社長] を選出した。

総会后、日本貿易振興会 中国・北アジアチームリーダー代理 / 阿部宏忠氏が「WTO加盟後の中国最新事情」について講演した。

東北支部

6月13日（木）於：奥州秋保温泉 蘭亭

委任状を含めて33社が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に菊地太久治氏 [(有) 菊地ハガネ社社長]、副支部長に吉成信一氏 [協伸精鋼 (株) 社長] を選出した。

総会后に、日立金属 (株) 特殊鋼カンパニー・工具鋼G・営業部長 / 安達謙一氏が「本年度の工具鋼動向について」と題して市況動向を説明し、その後、石原鋼鉄 (株) 専務取締役 / 仲谷雅博氏が「中国への特殊鋼流通業の進出について」と題して講演した。



新旧支部長（左：加茂前支部長、右：菊地新支部長）

北関東支部

6月9日（日）於：伊香保温泉

21名が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に長谷川嘉宣氏 [(株)長谷川ハガネ社長]、副支部長に船田正氏 [フナダ特殊鋼（株）社長]、宮内保氏 [小山鋼材（株）社長] を選出した。

総会終了後、大同特殊鋼（株）／西條英俊氏、日本高周波鋼業（株）／定村剛氏、日立金属（株）／安達謙一氏を囲んで最近の特殊鋼市況について懇談した。



長谷川新支部長のあいさつ
〔(株)特殊鋼産業新聞社提供〕

神奈川支部

6月13日（木）於：横浜エクセルホテル東急

24名が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③神奈川支部の東京支部への統合承認の件

静岡支部



山浦支部長のあいさつ
〔(株)特殊鋼産業新聞社提供〕

6月6日（木）於：エキシブ初島

17名が出席。次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長は、山浦康雄氏 [(株)サンコー社長]、副支部長に北沢康雄氏 [青山特殊鋼（株）(取)静岡支店長]、山本明好氏 [大同マテックス（株）静岡支店長] を選出した。

総会後、日立金属（株）東海支店／加太幹久氏、大同特殊鋼（株）名古屋販売部／上松正明氏が「最近の特殊鋼業界の動向について」と題して講演した。

九州支部

6月6日（木）於：リーガロイヤルホテル小倉

12名が出席し、次の議案を審議、承認した。

- ①平成13年度事業報告（案）・決算報告（案）承認の件
- ②平成14年度事業計画（案）・収支予算（案）承認の件
- ③役員改選の件 支部長に吉永優氏 [特殊鋼鋼機（株）社長]、副支部長に谷中正弘氏 [白鷺特殊鋼（株）九州営業所常務取締役所長]、津村春美氏 [高口鋼機（株）専務]、松田勝幸氏 [栗井鋼商事（株）福岡営業所（取）所長]、左達男氏 [井上特殊鋼（株）福岡支店長] を選出した。



総会風景
〔産業新聞社提供〕

「青年部会」第2回運営委員会を開催

～メタルアート協賛、支部若手の会との交流等、意見百出～



平成14年3月22日（金）、大阪市北区梅田のホテルモンテ大阪・6階会議室において全特協「青年部会」の第2回運営委員会が開催されました。出席者は、木村部会長以下部会委員15名、来賓に久木田至青樹会会長をお招きし、協会からは久木田副会長、熊谷人材育成委員長が出席。今後の青年部会の活動に向けて、さまざまな意見交換がなされました。審議状況は次のとおりです。



運営委員会開催に先立ち、あいさつする木村部会長

「第2回運営委員会」の審議状況

(1) 青年部会規定第6条第2項の変更（副部会長の増員）

①「5人以内を副部会長」を「6人以内を副部会長」に変更する件を審議し承認した。

(2) 副部会長の増員分の選任について

①上記の承認に基づき関東地区：濱田訓通（くにみち）氏、中部地区：松岳大樹氏、関西地区：宮内保氏を出席者全員一致で副部会長に選出した。

(3) 平成14年度青年部会事業計画（案）と事業予算（案）について

①事業計画（案）を審議し承認した。詳細は次のとおり。

- イ. 総会・・・平成14年6月2日（日）に名古屋で開催される全特協・定時総会の後に東京・大阪・その他（研修旅行として）で計画する。
- ロ. 特殊鋼文化の普及啓発事業・・・「金属彫刻作家新鋭展」協賛を計画する。
- ハ. 共同化メリット・・・全特協のホームページの有効利用を検討する。
 - ・地方の若手の会との交流をはかり、共催事業を考える
 - ・会員相互の共同購入事業の検討（作業服、鋸歯、会員権の共同利用等）
 - ・会員企業向けの求人資料の共同作成等

②14年度収支予算（案）の内容について審議し承認した。



久木田副会長からは「全特協の歴史と、青年部会へ望むこと」の卓話をいただいた。

「調査研究委員会」主催講演会

我が国の金型産業の将来展望と課題（中国の製造業の評価も踏まえつつ）



平成14年3月25日（月）、「調査研究委員会」主催による講演会を東京・鉄鋼会館701号室において、72名の参加を得て開催しました。経済産業省製造産業局素形材産業室長の富田健介氏が「我が国の金型産業の将来展望と課題（中国の製造業の評価も踏まえつつ）」と題して講演されました。同氏は、豊富な各種統計データを用いて中国産業界の現況と国内金型産業の展望と課題を解説されました。



■経済産業省製造産業局素形材産業室長

富田健介氏（講演の一部を抜粋）

我が国の素形材産業には、高付加価値化、納期短縮といった「技術力強化」や、コンソーシアム形成・連携といった「経営リソースの革新」が迫られています。単純な成型加工などの

差別化が困難な分野ばかりで競争するのではなく、開発期間の短縮、技術革新、投資環境の強化などを実施することで、競争力が向上する企業群が数多く存在するものと考えています。

金型産業の国際競争力評価 ※講演会資料より抜粋		
（着眼点）	（例示）	（強い国）
精度	高精度 自動車用ボディプレス、半導体リードフレーム、マイクロギアなど	日本、ドイツ
	低精度 家電筐体用、日用品、一般機構用部品など	アジア、中国
複雑さ	複雑 モジュール部品用（自動車用インターパネル）など	日本
	単純 家電筐体用、日用品、一般機構用部品など	アジア、中国
開発要素	多い 一番型、意匠要素の多いもの	日本
	少ない 二番型以降	アジア、中国
納期 → 短納期	モデルチェンジが頻繁なもの、デザインインを要するもの	日本、韓国

出典：「金型産業の直面する課題と将来展望」経済産業省、素形材センター 2002年2月



■藤原久芳 調査研究委員会委員長のあいさつ

会員各位におかれましては、日頃から金型材との関わりも多いかと思ひ、今回の講演会を企画いたしました。調査研究委員会では、特殊鋼関連の動向を調査研究することも委員会事業のひとつであると考えております。今後とも、会員各位にお役立ていただけるような事業を企画いたしますので、よろしくお願ひいたします。

第4回 特殊鋼販売加工技士 (実務編) 資格認定式 開催



平成14年5月14日(火)、東京・鉄鋼会館705号室において平成13年度の特
殊鋼販売加工技士(実務編)の資格認定式を開催しました。

認定式では田島会長のあいさつに続き、ご来賓として磯部隆経済産業省
製造産業局鉄鋼課課長補佐にご祝辞を賜りました。

平成13年度の本資格合格者数は別表の通りで、(株)マクシスコポー
レーション・合田剣悟さん(東京支部)、三利特殊鋼(株)・濱井省吾さん(大阪
支部)、佐久間特殊鋼(株)・小森淳一さん(名古屋支部)が各支部を代表
して会長から資格認定書を授与され、大洋商事(株)・出山明延さんが全員
を代表して答辞を述べられました。

資格認定式後の祝賀懇談会では、熊谷多津旺人材育成委員会委員長が
「後に続く後輩が参加しやすい職場環境作りを心がけてほしい」とあいさつ。
乾杯の後にはなごやかな懇談が続けられました。



■会長あいさつ
(社)全日本特殊鋼流通協会
会長 田島 清

本日は、特殊鋼販売加工技士(実務編)の
合格、まことにおめでとうございます。みな
さま方におかれましては、日々、会社の業務
と並行しながらの検定講座の受講、そして検
定試験の終了と、まことにご苦労さまでした。

今後は、本資格で得られた知識を実務に活
かし、会社への業績貢献はもとより、特殊鋼

業界の発展にも役立てていただけるよう、ご活躍をお祈り申し上げます。



■講評
検定試験委員会委員長
湯野沢勝栄 様

特殊鋼の知識において高いレベルの方々
が合格者として揃われた。今後、加工の技術は
ますます重要なものとなっていくであろう。
さらに、知識、技術の向上に努められ、企業
での活躍とひいては特殊鋼業界への貢献につ
ながることを期待する。



■ご来賓祝辞
経済産業省製造産業局鉄鋼課
課長補佐 鉄鋼製品・流通加工担当
磯部 隆 様

みなさま、本日の資格取得認定まことに
おめでとうございます。

さて、昨今では鉄鋼業も含めた製造業の
空洞化が大きな問題とされております。こ
うした諸問題につきましては、昨年来より、
経済産業省をはじめさまざまな場で、わが

国の産業全般について産業横断的な分野の戦略強化や、経済の強化、
産業の競争力強化などが議論されており、今後、各方面での政策に活
かされてくると考えています。私ども鉄鋼課といたしましても、各方
面に有益な情報を発信して、鉄鋼全般についても競争力強化への役割
を果たしてゆきたいと考えております。

鉄鋼界につきましては、メーカーだけの努力で発展があるものでは
なく、メーカーと流通が一体となった活躍があってこそ、初めて発展
が得られるものだと考えております。その点におきましては、本日、
ここにお集まりのみなさまにおかれましては、鉄鋼のなかでも、その
発展を最先端で支えておられる特殊鋼という分野にいらっしゃるわけ
で、今後より一層の活躍が期待されるものと信じております。みなさ
ま自身が、わが国の特殊鋼流通を最先端で支えているという、大いな
る自負心を持ち、一方では謙虚な気持ちで新たな情報を取り入れられ
ることで、特殊鋼流通業界の発展にご尽力いただきたいと思います。



■答辞
資格取得代表者
大洋商事(株) 出山明延 様

特殊鋼販売加工技士の認定書を頂きありが
とうございます。特殊鋼の流通、販売に携わ
る者として、販売技士と共に加工技士の資格
を認めて頂いたことは大変名誉であり誇りに
思っております。機械図面の読み方の基礎編
から始まり、機械加工の実務研修を含めた実
務編まで、延べ38時間近い勉強をしてまいり
ました。この間、湯野沢、杉浦両先生には実体験に基づいたご懇切な講
義をして頂き本当にありがとうございました。

また、業務多忙の中、快く送り出して下さった会社の上司、同僚の
方々にも感謝の気持ちでいっぱいです。

特殊鋼業界を取り巻く環境は誠に厳しいものがあります。この熾烈な
生き残り競争を勝ち抜くためにはより高い知識を身につけ、より付加価
値の高い商品をお客様に供給していただけるようさらに勉強してまいり
たいと思います。

これからは、ここで学んだ貴重な体験と知識を活かして、微力ではあ
りますが、社業発展のため、そして特殊鋼流通業界発展のために頑張っ
ていくつもりです。

最後になりましたが、私たちのために貴重な時間を割いてご尽力いた
だいた協会の役員、事務局の皆さまには大変お世話になりました事を感
謝申し上げ、お礼の言葉に代えさせていただきます。

■平成13年度「特殊鋼販売加工技士（実務編）」合格者数

支部	受講者数	受験者数	合格者数
東京	21	19	16
大阪	17	17	17
名古屋	22	19	17
合計	60	55	50

■特殊鋼販売技士・販売加工技士有資格者認定者の累計

特殊鋼販売技士支部別有資格認定者

昭和51年(1976年)よりの累計数

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	埼玉	神奈川	新潟	長野	静岡	広島	九州	計
1級	697	595	274	33			4		1	36			1,640
2級	1,137	1,061	584	42	44		4		40	62		54	3,028
3級	1,749	1,212	978	103	71		56	14	77	164	92	62	4,578
計	3,583	2,868	1,836	178	115		64	14	118	262	92	116	9,246

特殊鋼販売加工技士支部別有資格認定者

平成6年(1994年)よりの累計数

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	埼玉	神奈川	新潟	長野	静岡	広島	九州	計
実務編	119	76	53				1						249
基礎編	400	393	232	100	22	12	26		60	26		40	1,311
計	519	469	285	100	22	12	27		60	26		40	1,560

特殊鋼販売技士・販売加工技士支部別有資格認定者

	東京	大阪	名古屋	東北	北関東	埼玉	神奈川	新潟	長野	静岡	広島	九州	計
計	4,102	3,337	2,121	278	137	12	91	14	178	288	92	156	10,806

「韓国特殊鋼流通事情視察研修」を実施

全特協では平成14年4月7(日)～11日(木)、韓国にて特殊鋼流通事情視察研修を実施しました。ここ数年海外視察研修を続けており、米国、欧州、台湾に次いで韓国訪問となっております。視察研修の主目的は、国内特殊鋼流通業界の健全な発展を図るため、海外に視野を広め海外展開の可能性を探るとともに、国内業界との相違を見だし会員各社の経営に役立てることが狙いです。今回の韓国訪問では、商慣行、物流合理化の状況などについての実態調査と情報交換を行い、第一特殊鋼、元一特鋼、韓国鐵鋼協會、昌源特殊鋼、ルノー三星自動車を訪ねました。



ルノー三星自動車にて

「韓国特殊鋼流通事情視察研修で考えさせられた事」

韓国視察 まとめ

(1) 今回の訪問で好印象となった事柄は、訪問先各社の我々に対する心からの歓迎であった。訪問した企業の経営者、又は訪問した部門のトップが心からの暖かい気持ちで迎えて下さった。さらには、そこで展開された質疑応答の会場も用意されており、説明もよく準備していただいていたおかげで、わかりやすく感心した。これは逆の立場となつて、日本に視察団を迎えた場合の参考にしなくてはならないと思った。

(2) 国内経済成長率が前年比4～5%という経済情勢の中で、訪問した各社共に自信に満ちた経営方針をもって対処されているところは、現在の我が国が見習わなくてはならない点であると強く思った。特筆すべきは、特殊鋼メーカーが自社の製品の品質に対して謙虚さのなかに、絶大なる自信をみなぎらせていた点である。流通業者の工場ヤードにある国産材料は見たところでは、日本製品と遜色ないものであった。

(3) 人件費の高騰はやはり韓国でも大きな社会問題となつており、中国への工場進出等、空洞化の問題が日本と同様に発生している。更に、韓国特殊鋼流通業界の大きな動きとしては、広く世界に市場を求めて真剣に研究していることが感じられた。アメリカ・ヨーロッパが各種規制の中にある今日、中国市場に的を絞って研究している点が脅威でもある。そして近い将来、中国への大規模な企業進出の動きが出てくる事が予想される。

(4) 訪問した各企業の経営者をはじめ部門のトップ及び管理職が全員日本語が理解出来たことに驚いた。企業が社員教育として日本語習得をバックアップすると同時に、個人でも特別に日本語を勉強する時間を作って、積極的に日本語を習得しようという態度は脅威であった。現在の日本と比較したときに、何事に対しても積極的に勉強しようという姿勢に欠けている部分で負けていると感じた。

全般として韓国という国全体が何事にも真剣に取り組んでいる点である。日本の現状を考えた時に、これでは韓国に負けてしまうと実感した。

(5) 商慣行の実態調査では、切斷賃・運賃等ユーザー側から回収することのむずかしさは、日本と同様、経営者各位の頭の痛い点で、良い解決策がないのが現状であった。

今回の参加者各位が述べられていたが、日本から最も近い隣国で、ここ数年の激しい経済変動を堂々と胸を張って切り抜けて来た企業経営者たちの、サクセスストーリーを目の当たりにできたことは、今回の視察研修の大きな成果であった。



韓国三井物産(株)との質疑応答

私の愉しみ

(株)ヤマコー・代表取締役／山田保太郎



ゴルフと人生は相通ず

～ゴルフから学び得たもの～

■自分のゲームを見失わずに

H.C.2という腕前で、特殊鋼業界で広く知られるのが山田社長のゴルフだ。ゴルフの醍醐味は何か、との問いに山田社長は次のように答える。

「ひとつは、自然の中でのびのびとプレイすることの開放感。そして、もうひとつが自分のイメージ通りにプレイが決まったときの快感。単純に言えば、ナイスショット、ナイスパターということなのだが、シミュレーション通りにゲームが進んだときの、体の中のストレスがスッと抜ける瞬間がゴルフの醍醐味だ。」

もっとも、いつもイメージ通りにプレイできるとは限らず、幸せになることもあれば、苦境に立つこともある。ゴルフとはビジネスや人生と似通ったものであるといわれる所以である。

しかし、そんなときにこそキチンと処理をしなければいけない。腹を立てたり他人の幸運を羨んだり、ましてや自分の不運を呪ったりしてはいけない、と山田社長は言う。

ビジネスの世界では、最大の試練は、どのような処理を行うかで最大のチャンスにもなり得る。起きてしまったことはキチンと対処してプラスに転じなければいけない。ゴルフも同様に、ナイスリカバリーができるようになれば、その腕前は格段に上達する。ゴルフを通じて、こうした忍耐力、集中力、判断力が養われたことで、ビジネスでも逃げないで対処できるようになったと山田社長は笑う。

ゴルフは本来、自己のベストを尽くすことで、満足のいく結果を得られるものだと言われる。物事を逆に考えて

はいけない、と山田社長は言う。そうすることで自分のゲームを見失って、結果、ゲームそのものを無くしてしまうからだ。

■人間形成に影響大

ゴルフを始める前の山田社長は、自身、とても誉められた生活ではなかったと振り返る。当時の趣味は、パチンコに麻雀、競輪、競馬。元来がのめり込みやすいので、パチンコをやれば朝から晩まで、麻雀を打ちに行けば3日3晩帰らない、そんなタイプだった。

しかし、ゴルフを始めて、一気にのめり込むことには変わりはなかったが、ルールを遵守しマナーを尊重しながら、人付き合いの大切さを学んだ。自分がどんどん変化していくのを実感したと言う。

ゴルフを通じて、さまざまな人との出会いがあった。自分よりもゴルフの上手な人とラウンドを重ねれば、その人がどんなに努力しているかが分かり、しばしば感心させられた。目上の人との付き合い、また自分よりも立派な会社の社長との付き合いから、人生的に、あるいはビジネス的にも学ぶべきことは多かった。ギャンブルとは違った意味でゴルフはお金がかかったが、自身の身になることは計り知れなかったと言う。ゴルフ三昧の生活だったが、山田社長の奥さんも大目に見てくれ、奥さん自身、2～3年の間に見る見る変化する山田社長を実感できたそうである。

ゴルフを辞めたら、自分はロクなものにはならない。そうまで思って、山田社長はゴルフに熱中したのである。

■過程は必ずスコアに表れる

熱中の甲斐あってゴルフも上達し、仕事仲間でも評判となった。その分、仕事への張り合いにもなったらしい。「ゴルフの山田」などと覚えられては、仕事でもうかつなことはできないからだ。自身のゴルフ歴を振り返って山田社長はこう言う。

「ゴルフは本来、非常に厳しい。自分を磨く、育てるということでは役に立つはずです。いい加減なことをすると必ず、スコアで罰を受けます」。



昭和55年、第14回全日本パブリックゴルフアマチュア選手権で69ストロークでコースレコードを獲得

突然おじゃま



相場商事(株)・取締役社長／相場亮嗣

三条市は、新潟県のほぼ中央に位置し、信濃川と五十嵐川の合流点に古くから発達した街で、現在、県央の中心都市に成長している。また、刃物技術をベースとした全国有数の金属複合産業の地としても知られ、三条市の金物の発祥は、寛永年間(17世紀初頭)に和釘の製造から始まったといわれている。

今号で"おじゃま"した相場商事(株)は、文久元年(1861年)に金物卸商として創業。以来、140年余にわたり取り扱い品目は変われども連綿とハガネを商ってきた老舗だ。5世となる当代を訪ねてみた。

伝統の鉄の街で歴史と未来を考える

■鉄のルーツに思いを馳せて

新潟県三条市に隣接する南蒲原郡栄町東部工業団地内の相場商事(株)の社屋をくぐると、入口すぐのショーケース内に主要な取り扱い製品が陳列されている。ここまではよく見慣れた光景だが、ショーケースの約半分を占めているのが、何やら鉄混じり、といった感の石ころだ。「これは鉄鉱石か何かですか?」と訊ねると、出雲を始めた各地のたたら跡からの鐵鑄(ノロ)や玉鋼とのこと。先代の4世長一郎社長から当代の亮嗣社長まで蒐集した、鉄の遺跡である。

三条市という由緒ある金属加工の街の、地場を代表する老舗に生まれ育っているからだろうか鉄のルーツへの思いは格別なようだ。もっとも、相場商事も加盟する三条商鐵組合も昨年、創立110周年を迎え、記念事業の一環として、古来三条との関係が深い島根県安来市を訪問し、日立金属安来工場の見学や、保存技術保持者であるたたら吹きの木原明氏との座談会を行っているから、ハガネの街三条に共通する気分なのかもしれない。三条商鐵組合110周年事業では、相場社長が記念誌編纂の編集長を務めた。「街道を行く・砂鉄の道」と同じコースを辿る機会もあり、鉄の歴史にどっぷりと浸ったようだ。

今後は、博物館めぐりなど鉄の歴史研究に余暇をあてたいという相場社長。さらには出雲の砂鉄も入手済みで、いずれは何か作ってみたいと思案中とのこと。いまの相場社長には、この砂鉄が一番の"お宝"のようだ。

■顧客がタイアップできる企業を目指す

金物卸商として創業した相場商事だが、先代までは三条の地らしく刃物材の卸売・加工が中心だった。しかし現在では、特殊鋼や各種金型材の加工販売と精密機器部品の製造が中心となっている。

ここ十年來の景気低迷の影響はどこでも同様で、昨年破綻した新潟鉄工所の影響は新潟県の経済にも大きな影を落としている。低位安定、ところによりまだ模様といった経済環境の中で相場社長は、差別化によって打開を図らなければいけないと考える。他との差別化が明瞭でない、例えば、黒皮を目方で安く叩き合うような商売では企業のメリットも得られないし、業界の未来も期待できないという。

厳しい経済環境下ではあるが、企業が生き残りをかけて成長を続けるには短納期、高品質といった高付加価値を製品に吹き込み、顧客にとってタイアップする価値のある企業を目指さねばいけないということであり、そのためには、設備投資も検討中だし、社員の意識改革にも取組中だ。

■社内の風通しを良くするミニ会議

社員教育という点では、毎朝始業前のミニ会議をここ数年、相場社長も参加しながら続けているのが効果的だという。

その日その日で、現場から工場の安全管理についての提案がある場合もあれば、営業サイドから顧

客ニーズや商環境の変化についての報告、提案がある。また、ためになりそうなビジネス書の紹介、回し読みのススメなど、臨機応変に対応している。相場社長も持ち回りで報告、提案をしなければいけないから油断できないそうだ。

このミニ会議のおかげで、社内の死角が少なくなったと実感する。社内といえども、担当以外のことは結構知らないことが多い。ミニ会議で、ちょっとした取扱営業品目の再確認だけでも社内の風通しが良くなったように感じられる。

近ごろ、相場社長が気にかけて実行しているのが書籍の紹介だ。話題の新刊、隠れたベストセラーなどビジネスに役立つような書籍を自身でも読み、社員に紹介する。どんどん姿を変えていく世の中を知るためにも、またそんな世の中に対応するためにも情報収集が重要だと感じるからだ。社員も共有で情報を仕入れられる。昼食代と大差ない書籍の値段など、安いものだと考えるこの頃である。



相場商事(株)・特殊鋼センター

理事会・委員会報告

第6回定時総会

平成14年6月2日（日）～6月3日（月）

国定公園知多半島・南知多温泉郷「花乃丸」において開催詳細は前述のとおり

第17回理事会

平成14年5月14日（火）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部・会議室

次の議案について審議を行い承認した。

第1号議案 平成13年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）承認の件

第2号議案 平成14年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）承認の件

第3号議案 役員選任の件

第4号議案 顧問の推薦の件

第5号議案 会員の入会承認の件

[報告事項]

- ①委員会報告
- ②事務局報告

第25回運営委員会

平成14年5月14日（火）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部・会議室

第17回理事会に付議する議案について審議を行い了承した。

(1) 審議事項

- ①平成13年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について
- ②平成14年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
- ③役員選任（案）について
- ④顧問の推薦について

顧問として推薦する者の氏名・勤務先・役職名
井上豊治 井上特殊鋼（株）代表取締役会長
田島 清（株）テクノタジマ代表取締役会長

⑤会員の入会について

次の正会員の入会を承認

（株）新洋テクノネット 代表取締役 芦刈 茂
（株）ワイエスエス 代表取締役 和田史郎
（株）ユアーズスチール 代表取締役 渡邊洋一

(2) 報告事項

- ①委員会報告
- ②事務局報告

第19回総務委員会

平成14年5月8日（水）

東京・鉄鋼会館5階（社）特殊鋼倶楽部・会議室

第25回運営委員会の審議事項について審議を行い了承した。

(1) 審議事項

- ①平成13年度事業報告書（案）及び収支決算書（案）について
- ②平成14年度事業計画書（案）及び収支予算書（案）について
- ③役員選任（案）について
- ④顧問の推薦について
- ⑤会員の入会について
- ⑥第6回定時総会について

調査研究委員会

(1) 経済産業省製造産業局の協力により講演会を次のとおり開催しました。

1. 講演テーマ：我が国の金型産業の将来展望と課題
～中国の製造業の評価も踏まえつつ～

2. 開催日：平成14年3月25日（月）

3. 開催場所：東京・鉄鋼会館701号室

4. 講師：経済産業省製造産業局素形材産業室長 富田健介氏

人材育成委員会

(1) 特殊鋼販売加工技士（実務編）資格認定式

平成14年5月14日（火）

東京・鉄鋼会館7階。合格者50名の内、17名が出席。

また、協会関係者の他、経済産業省製造産業局鉄鋼課・磯部課長補佐、藤川係長が来賓として出席。

詳細は前述のとおり。

商慣行近代化委員会

(1) 共通通い箱「おかよちゃん」キャンペーン期間延長御報告

平成13年度1年間会員の皆様の御協力のもとに鉄板製243個、鉄網製687個、樹脂製940個の御注文をいただきました。

特殊鋼流通業界の中で、共通する通い箱となることを目的として、これからも会員の皆様の御利用いただける通い箱の開発に積極的に取り組んで参りますので、更なる御協力を宜しく御願ひ致します。

青年部会

(1) 第2回運営委員会

平成14年3月22日

ホテルモントレ大阪にて開催 詳細は前述のとおり

事務局だより

1 経済産業省製造産業局鉄鋼課の人事異動

当協会の担当でありました山本茂係長が平成14年4月1日付けで、資源エネルギー庁石炭課に転出されました。平成12年6月1日から当協会の運営について御指導をいただきました。ありがとうございました。新天地での御活躍を祈念しております。

後任は、藤川佳久氏（新エネルギー産業技術総合開発機構から）です。

2 大阪支部事務局長が鳥居則達氏から三木昭男氏に交代しました



三木 昭男（みき あきお） 1942年福岡生まれ。九州大学卒。

（職歴）

昭和39年4月 伊藤忠商事（株）入社
大阪特殊鋼部ステンレス課配属
東京特殊鋼部ステンレス課長から
大阪秋津鋼材（株）常務、
同和ステンレス（株）社長のあと、
伊藤忠大阪鉄鋼第3部長から
福岡チクシ鋼板加工（株）社長、
大阪（株）協成常任監査役を経て
平成14年4月 大阪特殊鋼3団体事務局長就任

（趣味）

絵画鑑賞、囲碁（2級）、ゴルフ、切手収集、
最近はパソコンに熱中しています。

3 お役に立つ新刊書籍の御案内

協会事務局では、毎年「JIS」の販売を日本規格協会から依頼されて会員の皆様にPRしておりますが、このたび新たに科学・技術シリーズで2冊の最新刊が紹介されています。

(1) 硬さのおはなし [改訂版] 寺澤正男・岩崎昌三共著

定価：本体1,300円（税別） B6版・240頁

本書では、材料工学の立場から分かりやすく硬さの不思議を解説。資料を刷新し、硬さ実用面の詳細解説など親切丁寧に記述。金属試験・材料試験・硬さ試験の関係者向けの実用書としても、ちょっと興味のある方にも気楽に読んでいただける一書です。

(2) 新おはなし品質管理 [改訂版] 田村照一著

定価：本体1,200円（税別） B6版・196頁

品質・ばらつきの概念・工程の管理・QC七つ道具・QCの問題解決法・相関分析・層別など、品質管理に不可欠な手法及び考え方を身近な例により分かりやすく解説。改めて品質管理の必要性を感じておられる方、および初めて品質管理を学ぼうとする方に最適の一書です。

ご希望の方は協会事務局まで電話又はFAXでお申し込み下さい。

TEL 03-3669-2777 FAX 03-3669-0395

編集後記

6月2日（日）国定公園知多半島・南知多温泉郷「花乃丸」で第6回定時総会が開催され、三上聰彦新会長のもと新体制でのスタートとなりました。会員各位の結束をさらに強いものとして、協会運営が進められることを期待します。

W杯サッカーでは世界の一流選手たちの強靱な鍛えられた体とスピード感あふれる敏捷な動きに魅了させられ、1つ

のボールを追い、ひたむきにゴールを目指すあくなき闘志に感動させられました。

特殊鋼流通業界もサッカーにあやかって力強く、景気の向上に向けた活動ができればよいと思います。

総務委員会副委員長・広報誌発行責任者／小山 東輔